

秋厚労ニュース

NO1775号

2017年6月29日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

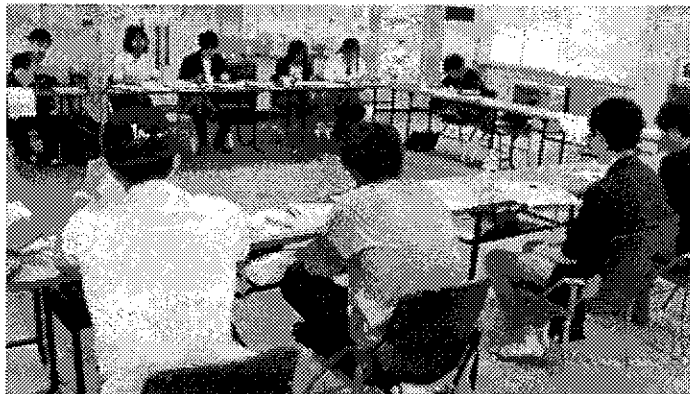
FAX 018(864)3349

バド2部リーグ検討

来年から

協力員 青年部 合同
球技大会総括会議

去る6月24日、秋厚労球技大会の「合同総括会議」が行われ、協力員・青年部合わせて12人が参加。このスタイルも2年目を迎え、定着した様相です。「主催者」としての意欲的な発言が飛び交い、今後のさらなる発展を期待させる会議になりました。



1人でも参加できる球技大会をめざした施策を検証

秋厚労・球技大会では、2005年頃から大きなケガが連続的に発生しました。その原因について、中央執行委員会は「病院の仕事が全体として忙しくなる中、主宰する青年部の役員が選手を兼ねざるを得ず、大会運営に手が回らない」と分析。中央執行委員の有志が大会運営を手伝うようになり、これが昨年から「協力員」という形に発展しました。

昨年行われた初の「協力員・青年部・合同総括会議」では、「1人でも参加できる球技大会」という考え方を

確認。今年は、その方針に基づく様々な具体策を施したうえで大会が開催されました。

方向性は間違っていない

例えば、競技ごとに「運営責任者」を置き、それぞれ試合前にオリエンテーションを実施。参加者の声も集約しやすくしました。また、バドミントンのコート

報を伝える「ツール」の充実を図りました。

秋厚労・球技大会の特徴的な動き

1973(S48)年	☆ 秋厚労・球技大会始まる
2005(H17)年 ~2009(H21)年	☆ 球技大会で連続的に大きなケガ発生 ☆ 球技大会を廃止するか議論も
2010(H22)年~	☆ 秋厚労としての原因分析「主宰する青年部の役員が選手を兼ねざるを得ず、大会運営に手が回らない」 ☆ 中央執行委員の有志が運営に協力
2015(H27)年	☆ 競技にバドミントンが加わる
2016(H28)年	☆ 「協力員制度」始まる ☆ フットサルで女性の得点を2点に ☆ 合同総括会議で「1人でも参加できる球技大会」という考え方を打ち出す
2017(H29)年	☆ バドミントンのコート2つに拡大 ☆ 各競技の責任者を明確に ☆ バレーを15点制に ☆ ここ数年では最多172人の参加

来年の成功を予感させる工夫案いっぱい

そのうえで、来年、より多くの人が参加し、より楽しく、より安全に球技大会を行うための「工夫案」が数多く打ち出されました。その1つが、「少人数で参加したチーム」への配慮。せっかく参加しても、トーナメントの1回戦で敗退し、あとは時間を持て余すような光景が見られ

「2つのリーグ」制を検討することになりました。また、人数が少ないことで、閉会式後の「記念撮影」に参加しにくい雰囲気があることも確か。次回からは、その点も考慮します。

よりキメ細かい運営

2つ目は、「よりキメ細かい運営」です。もつと食べやすい昼食を検討する。子どもたちの安全対策を図る。日差しなどの影響を配慮する。デコレーションを

貼る場所を工夫する。細かいトラブルまで予想したマニュアルをつくる。運営スタッフの名前を事前に知らせるなど、必要な課題や対策等が話し合われました。この日の合同総括会議に向けて報告を準備してきた参加者もいるなど、終始「主催者」としての意欲的な発言が飛び交い、笑い声も絶えない充実した論議。早くも来年の球技大会の大成功を予感させるような熱い会議となりました。